

1 火って何？煙って何？

火って何だろう？

火は、物が燃えている時の現象をいいます。ろうそくやライターの火のように、炎を出しているものを火と呼んでいますが、炭火などのように炎は出ていないが高温となっていて赤くなっているものも火です。

「燃える」とは、物から熱と光が出ている現象です。火が明るく光るのは、燃えている物が高温となっているからです。物が燃えるためには空気中の酸素が必要で、火事になると周囲の酸素が少なくなり、そのそばにいると呼吸困難を起こす危険があります。



煙って何だろう？

物が燃えた時に発生する小さな粒が、煙の正体です。煙が白く見えたり黒く見えるのは、煙を構成する成分によって違い、火のそばでは空気が熱くなり、まわりの空気より軽くなるため上へ上へと、1秒間に3メートルから5メートルの速さで上がっていきます。

火事の際に出る煙には、物が燃えて発生する有毒なガスを含み、これを吸うと、頭痛やめまいがして、意識がなくなったりします。また、熱くなった煙を吸い込むと、気管や肺がやけどをしてしまい、呼吸ができなくなるので、非常に危険です。



2 ひなん ほうほう 避難の方法

ひなん 避難のしかた

- 煙は、下の方ほどすいので、できるだけ姿勢を低くして、口や鼻をタオルなどでおおい、すぐに外へ避難すること。
- 出口のドアに着いたら手をドアに当て、熱いか熱くないかチェックすること。
- 熱くなければ低い姿勢で、そっとドアを開け、炎や煙が逃げ道をふさいでいないかを見て、すばやく外へ逃げること。
- もし熱かったらドアは開けずに窓などから逃げ出すこと。
- 閉じ込められ助けが必要な時は、壁や床をたたいて自分のいる場所を知らせること。
- 叫ぶのは最後の手段です。叫ぶと煙や有毒なガスを吸うことになるかもしれません。
- 煙や有毒なガスは天井に集まるので、いつでも身体を低くすること。

